



平成28年熊本地震 熊本県益城町(最大震度7)

いつ、どこで起こるか分からない地震。突然大きな地震に襲われた時、適切な行動がとれますか。
被害を最小限にするには、一人ひとりが慌てず適切な行動をとることが重要です。自分の身を守る行動をとれるよう、日頃からどう行動するかを考える習慣をつけましょう。

まずは身の安全を確保する

- ・緊急地震速報や大きな揺れがあった時はまずは身の安全確保を最優先に行動します。
- ・丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない・倒れてこない・移動しない」空間に身を寄せて、揺れがおさまるまで様子を見ましょう。



地震発生直後の行動

- ◆火の元の確認と初期消火
 - ・火を使っているときは、揺れがおさまってから、火の始末をします。
 - ・出火時は落ちて着いて消火します。
- ◆出口の確保
 - ・揺れがおさまったのを確認してから、ドアや窓を開けて、避難ができるよう出口を確保します。
- ◆屋内の注意点
 - ・転倒や落下した家具類、割れたガラスの破片などに注意します。
 - ・落下物に注意し、慌てて外に飛び出さない。
- ◆屋外の注意点
 - ・ブロッコ塀、自動販売機、電柱、看板などは倒れる可能性があるのので近寄らない。



こんなところで地震が起きた

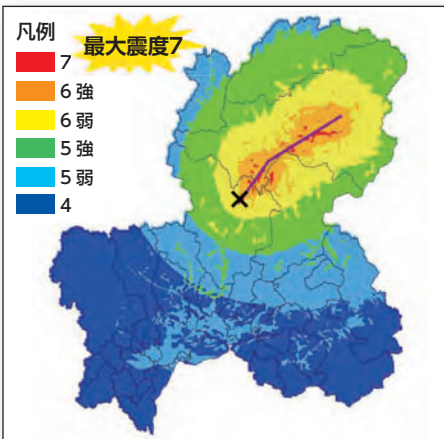
- ◆車の運転中
 - ・ハンドルをしっかり握り、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車する。
 - ・エンジンを切り、揺れがおさまるまで車外に出ない。
 - ・やむを得ず車を置いて避難する場合は、貴重品をもち、緊急時に車を移動できるように鍵はつけたままにする。
- ◆山やがけ付近にいるとき
 - ・落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。
- ◆列車やバスの中
 - ・座席に座っている場合は低い姿勢をとり、立っている場合は手すりや吊り革にしっかりとつかまる。
 - ・停車後は勝手に降車せず、乗務員の指示に従って行動する。

市内でも発生が予想される内陸直下型地震

岐阜県には100を超える活断層が密集し、県内のどの地域においても震度6以上の内陸直下型地震が発生する可能性があります。

高山市直下には高山・大原断層帯と呼ばれる活断層があります。県の被害想定調査では、下の図のとおり、最大震度7の地震が想定され、人的被害(死者741人)や避難者26,741人、建物被害(全壊12,989棟)が見込まれています。

高山・大原断層帯震度分布図



出典：県危機管理政策課

- ◆商業施設など人が大勢いる場所
 - ・慌てず、身を守る行動をとり、従業員や係員の指示に従う。
 - ・吊り下がっている照明など上からの落下物に注意する。
 - ・慌てて出口や階段に殺到しない。
- ◆路上
 - ・手荷物などで頭を守り、近くの広場などへ移動する。
 - ・繁華街ではガラスや看板などの落下物に注意する。
 - ・住宅街ではブロッコ塀や自動販売機、門柱から離れる。
- ◆エレベーターに乗っている時
 - ・最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。
 - ・閉じ込められた場合は、非常ボタンやインターホンで外部と連絡をとり、救出を待つ。